

第1号様式(第10条関係)

令和4年4月28日

沖縄県議会議員 殿

会 派 名 沖縄・自民党

代表者名 島袋 大



令和3年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和3年度 政務活動費収支報告書

会派名 沖縄・自民党

1 収 入 政務活動費 22,800,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	2,104,719	旅費 宿泊代 タクシー代 車両借上げ代等
研 修 費	0	
広聴広報費	10,045,585	広報紙印刷代、折込、ポストイン代 会派ホームページ委託料 振込手数料、
要請陳情等 活 動 費	0	
会 議 費	68,180	飲料代(案分)
資料作成費	0	事務費に含む
資料購入費	386,163	宮古毎日新聞 八重山日報 産経新聞 本土3紙(朝日・日経・読売)沖縄タイムス 琉球新報
事 務 費	2,721,538	リース①(コピー機、PC(ノート・デスクトップ、大判プリンター、紙折り機) リース②コロナ対策(検温機、霧化機) NHK受信料、固定電話、コピーカウント、防災服(案分)、 会議用WEBカメラ、文具等
人 件 費	7,404,642	給与 社会保険料 労働保険料
合 計	22,730,827	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 69,173 円

経費区分別支出一覧表

経費区分 調査研究費

日付	使 途 内 容	支 出 額	充 当 割 合	充 当 額
11/10	県議会→那覇空港 (タクシー4名同乗)	1,400	その他	1,080
	モノレール代 (羽田空港→浜松町)@500×8	4,000	全額	4,000
	①タクシー代1台目 (浜松町→議員会館)	1,620	全額	1,620
	①タクシー代2台目 (浜松町→議員会館)	1,540	全額	1,540
	②タクシー代1台目 (議員会館→復興庁)	660	全額	660
	②タクシー代2台目 (議員会館→復興庁)	580	全額	580
	③タクシー代1台目 (復興庁→ホテル)	420	全額	420
11/11	①タクシー代1台目 (ホテル→東京駅)	1,780	全額	1,780
	①タクシー代2台目 (ホテル→東京駅)	1,700	全額	1,700
	②タクシー代1台目 (仙台駅→ホテル)	680	全額	680
	②タクシー代2台目 (仙台駅→ホテル)	760	全額	760
	原子力災害伝承館入園料@600×8	4,800	全額	4,800
11/12	気仙沼市東日本大震災遺構 伝承館入園料@600×8	4,800	全額	4,800
11/12	乗船料 (@2000×8)	16,000	全額	16,000
11/13	タクシー代 (那覇空港→県議会)	1,250	その他	1,080
11/15	旅費 (那覇→宮古)下地康教	8,370	全額	8,370
11/17	お土産(7個)	8,921	全額	8,921
11/29	那覇→(東京・福島・宮城)旅費・宿泊・車両代	1,309,280	その他	1,252,080
12/1	車両借り上げ代(仙台)	132,000	全額	132,000
	振込手数料	770	全額	770
12/22	宮古⇄那覇 (熊本視察の際の往復)往(12/23)復(12/28)	20,040	全額	20,040
12/26	タクシー代 (県議会→那覇空港)	980	全額	980
	お土産(8個)	7,258	全額	7,258
1/6	旅費(沖縄⇄熊本) 車両借上げ代	632,800	全額	632,800
A. 小計				
B. (ガソリン代総額 - 費用弁償(交通費)総額) × 1/2				
C. 支払証明書計				
調査研究費 充当合計(A+B+C)		/	/	2,104,719

11月10日(水)

県議会→那覇空港 タクシー同乗での移動
充当割合:政務活動以外が含まれるので案分

調査研究費

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 40号

2021年11月10日

乗車料金
¥1400円

立替金
円

上記の通り正に領収致しました。

東タクシー(名)

沖縄県那覇市東町16-12
TEL(098)868-2604
お忘れ物やご要望がありましたら
上記のTELまでご連絡下さい

モノレール利用したら 1,080円 @270×4

タクシー利用で 1,400円 320円政務外

充当額 1,080円

充当割合:政務活動のみ全額充当

羽田→浜松町 (8名分)

領収証	
年月日	2021年11月10日
取引内容	乗車券発売
ご利用金額	1500円
・毎度ありがとうございます。 ・この領収証は大切に保存してください。	
発売駅名	羽田空港第2
券機番号	券A02
伝票番号	7418
東京モノレール株式会社	

領収証	
利用年月日	2021年11月10日
取引内容	乗車券発売
ご利用金額	1500円
・毎度ありがとうございます。 ・この領収証は大切に保存してください。	
発売駅名	羽田空港第2
券機番号	券A02
伝票番号	7417
東京モノレール株式会社	

領収証	
利用年月日	2021年11月10日
取引内容	乗車券発売
ご利用金額	1000円
・毎度ありがとうございます。 ・この領収証は大切に保存してください。	
発売駅名	羽田空港第2
券機番号	券A02
伝票番号	7419
東京モノレール株式会社	

モノレール代 4,000円

11月10日(水)

充当割合: 政務活動 のみ全額充当

調査研究費

浜松町→赤坂見附 (8名)

領収書
 現・チ・ク・割引 No.5735
 日付 21年11月10日
 車番 1077 000
 メータ運賃 ¥1,620円
 △合計金額 ¥1,620円
 上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
 お忘れ物・お支払いの点は当社へ
 八洲自動車株式会社
 東京都山手区清田1-3-15
 TEL 03-3642-4306

領収書

日付 2021年11月10日
 車番 1451
 基本運賃 ¥1,400円
 △合計 ¥1,540円
 (内消費税等 ¥140円)
 -----内訳-----
 現金支払 ¥1540円

kmグループ 大丸交通株式会社
 東京都葛飾区奥戸4-4-6
 忘れ物、領収書問い合わせ 03-3691-7233
 お客様相談室 0120-717-039
 <ナビコート>
 A44-2484-0271
 (営業回数2658)

タクシー2台分 3,160円

議員会館→復興庁

領収書 No.2906
 日付 2021年11月10日
 車番 5577
 運賃 ¥660円
 △合計 ¥660円
 上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます
 DAINA TAXI GROUP
 盈進自動車株式会社
 東京都大田区東荏谷1-9-15-101
 03(3744)8881

タクシーのご用命は無線配車センターへ
 03(3563)5151

領収書

日付 2021年11月10日
 車番 1366
 基本運賃 ¥580円
 △合計 ¥580円
 (内消費税等 ¥52円)
 -----内訳-----
 現金支払 ¥580円

kmグループ 国際自動車 台東営業所
 東京都台東区橋場2-20-13
 忘れ物、領収書問合せ 03-6802-3577
 お客様相談室 0120-717-039
 <ナビコート>
 A44-4634-0227
 (営業回数2053)

タクシー2台分 1,240円

復興庁→ホテル

領収書
 日付 2021年11月10日
 車番 5130
 基本運賃 ¥420円
 △合計 ¥420円
 (内消費税等 ¥38円)
 -----内訳-----
 現金支払 ¥420円

kmグループ 国際自動車 板橋営業所
 東京都板橋区坂下1-22-10
 忘れ物、領収書問合せ 03-3967-0521
 お客様相談室 0120-717-039
 <ナビコート>
 A45-0504-0148
 (営業回数8235)

タクシー1台分 420円

ホテル→東京駅(2台)

充当割合:政務活動のみ全額充当

調査研究費

3年11月11日

領収書

日付 2021年11月11日
 車番 2095
 基本運賃 ¥1780円
 合計 ¥1780円
 (内消費税等 ¥161円)
 -----内訳-----
 現金支払 ¥1780円

Kmグループ 国際自動車㈱ 東雲営業所
 東京都江東区東雲2-6-1
 忘れ物、領収書問合せ 03-5520-5934
 お客様相談室 0120-717-039
 <社コード>
 A46-0874-0448
 (営業回数 4169)

領収書

(クレジットカード支払)
 No.9301
 日付 '21年11月11日
 車番 103290 000
 基本運賃 ¥1700円
 運賃料金計 ¥1700円
 通行料他計 ¥0円
 合計 ¥1700円
 (Card Purchases)

ロイヤルリムジン株式会社
 TEL 050-3786-6185

タクシー代 3,480円

仙台駅→ホテル(2台)

領収書

2021年11月11日 -006
 メーター運賃 ¥680円
 運賃料金計 ¥680円
 合計 ¥680円
 現金支払 ¥680円

車両番号 0000
 毎度ご乗車ありがとうございます。
 仙台個人タクシー事業協同組合
 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5丁目25-6
 ☎ 0120-78-1385

領収書

2021年11月11日
 車両番号 0125
 運賃 ¥760円
 合計 ¥760円

仙台中央タクシー
 SENDAI CHUO TAXI
 仙台市宮城野区扇町5-5-20
 TEL 022-232-5741

タクシー代 1,440円

充当割合: 政務活動費のみ全額充当

11月11日 東日本大震災 原子力災害伝承館入園料(8人)

2021年11月11日(木)

領収証様
沖縄自民党

¥4,800-

上記正に領収しました(消費税等
東日本大震災・原子力災害伝承館
福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
電話 0240-23-4402

¥436-を含みます)

※保管上のお願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

0002-1163-7793

¥4,800

¥436
(消費税等

現計

2021年11月11日(木) 15:40 No:0002

4,800円

11月12日 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館入園料(8人)

2021年11月12日

領収書

沖縄自民党様

¥4,800

税抜金額 ¥4,364
消費税 ¥436
税率 10% ¥4,800
(内消費税 ¥436)

上記正に領収いたしました。
印刷面を内側に折って保管願います。

但し 入館料として
@600×8名様

4,800円

充当割合:政務活動のみ全額充当

丸文松島汽船

船賃

11月12日

乗船券代 (@2000×8)

No.

領収証 沖縄自民党

様

金額

¥16000-

但 乗船券代と17 2000×8枚

2021年1月12日 上記正に領収いたしました

内訳

消費税額等(%)

鹿児島市港町1丁目4番1号
丸文松島汽船株式会社
022-365-2611

充当割合:政務活動以外が含まれるので案分

11月13日

那覇空港⇒県議会(1台)4人同乗

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 270号

2021年11月13日

乗車料金

¥1250円

立替金

円

(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。



那覇個人タクシー事業協同組合
(個人604号)

海風タクシー

携帯 090-8292-8774

モノレール利用したら 1,080円 @270×4

タクシー利用で 1,250円 170円政務外

充当額 1,080円



領収書
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM: 下地康教様
金額

THE SUM OF: ¥ 8,370 円 (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1312422129023
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2021年11月15日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
SHIMOJI YASUNORI 様	2021年11月15日(月)	沖縄(那覇)	宮古	JTA567	離島割引(普通席)	¥8,370

合計金額	¥8,370
------	--------

会派視察 (那覇→宮古)

※往路代は視察前に臨時議会が招集されたので計上せず)

那覇→宮古(復路)代 8,370 円

充当割合:政務活動のみ全額充当

調査研究費

調査研究費

先方への茶菓子【 7 個】 令和3年11月10日~13日

領 収 証

№ 007013

2021年11月17日

ちんすく本舗

(有)新垣菓

本社
〒903-0826 沖縄県那覇市首里寒川町1-81-8
南城市玉城工場・事務所
〒901-0615 沖縄県南城市玉城字堀川698-1
TEL 098-948-3654 FAX 098-948-7834

担当者名

沖縄自民党

様

品名・規格	数量	単価	金額		摘要
お菓子			7	921	
		消費税			
		合計	7	921	

●上記のとおり領収いたしました。

復興庁 東京電力関係者(説明) 女川町役場関係 南三陸 気仙沼市役所関係者
観光防災関係者 日程調整関係者等

充当割合:政務活動、以外が含まれるので案分

調査研究費

令和3年11月10日~13日(参加8名)

- ① 11/10 那覇→羽田(旅費/宿泊)8名分 往路
- ② 11/11 東京→郡山(新幹線) 8名分
- ③ 11/11 福島県視察(バス借上げ)コロナ禍蜜を避けるため中型バス
- ④ 11/11 郡山→仙台(新幹線) 8名分
- ⑤ 11/13 仙台→那覇(飛行機) 5名分
 - ① 末松文信 ② 下地康教 ③ 仲村家治 ④ 仲里全孝 ⑤ 小渡良太郎
- ⑥ 11/13 仙台駅→東京(新幹線)3名分
 - ① 島尻忠明 ② 石原朝子 ③ 新垣淑豊(議会派遣議員として東京研修参加の為)
東京→那覇(復路代は計上なし)

政務適用外

12日(夕食代)が含まれている

1,309,280 - 57,200(政務外) = 1,252,080

2 (お客様用)

領収証

TZ № 002642

RECEIPT

2021年11月29日

沖縄-自民党 様

領収金額	¥	1	百	3	千	0	9	2	8	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

上記金額には消費税等¥ _____ が含まれています。

但し、航空券代金 クーポン券代金 団体旅行代金 申込金として

車・福島官城 185-ジ板夏217-(8名様同)

上記正に(現金・クレジットカード・)で領収致しました。

発行店TEL 0988572222

発行店 07 営業本部

発行者



沖縄ツアーリスト株式会社
経理部 沖縄県那覇市松尾



旅費代充当金額 1,252,080 円

【請求書】
INVOICE

お客様コード: 07-303855-001

2021年11月24日

沖縄・自民党 御中

観光庁長官登録旅行業第1358号
沖縄ツアーリスト株式会社
営業本部
担当: [REDACTED]
TEL: 098-857-2222
FAX: 098-857-2200

ご入金先: 琉球銀行 [REDACTED]
オキナワツアーリスト(カ)

事業名: フレッシュ会 国会勉強会および被災地視察

ご請求金額		¥1,309,280 (税込)	
出発日	摘要	人数	金額
2021/11/10	東京・福島・宮城行き パッケージ代金として	8名	¥1,309,280
<p>・手配内容</p> <p>11/10(水) 那覇10:05/羽田12:25 ANA994便</p> <p>11/10(水) 赤坂エクセルホテル東急(1名1室・朝食付)</p> <p>11/11(木) 東京駅08:08/郡山駅09:31 新幹線やまびこ127号</p> <p>11/11(木) 福島県(郡山中央交通)・中型バス1台</p> <p>11/11(木) 郡山駅18:54/仙台駅19:37 新幹線やまびこ151号</p> <p>11/11(木) 三井ガーデンホテル仙台(1名1室・朝食付)</p> <p>11/12(金) 秋保温泉「蘭亭」(1名1室・2食付)</p> <p>11/13(土) 仙台駅10:22/東京駅11:56 新幹線はやぶさ108号</p> <p>11/13(土) 仙台11:15/那覇14:35 ANA1863便</p>			
<p>※恐れ入りますが、お振り込み手数料はお客様にてご負担願います。</p> <p>※納入期日: 11/30(火)</p> <p>以下余白</p>			



令和3年11月12日(利用)

領収証

沖縄自民党様 No. _____

★
但 車両借上げ費用として
¥132,000-

2021年12月1日 上記正に領収いたしました
仙台市泉区泉中央
1-9-4-501
(有)グローバルスタンダード
代表取締役 志保 大輔



税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

宮城視察の際の車両借上げ代 132,000円

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

振込受付書

↑ 該当する方に○表示

振込日 03/20/21

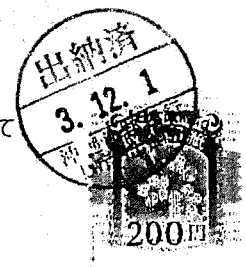
送付番号

お振込先	七十七	銀行	当行	信用金庫	信組	農協	その他	支店			
お振込金額	百億	拾億	億	千万	百万	拾万	万	千	百	拾	円
お振込金額							132,000				
お振込先	(有)グローバルスタンダード様										
お振込先	〒900-0001 仙台市泉区泉中央1-9-4-501										
お振込先	株式会社 沖縄海邦銀行 支店										
お振込先	〒900-0001 仙台市泉区泉中央1-9-4-501										
お振込先	振込手数料 元金 770円 手数料計 132,770円										
お振込先	振込手数料 元金 770円 手数料計 132,770円										
お振込先	振込手数料 元金 770円 手数料計 132,770円										

- 振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむをえない事由による通信機器回線の障害によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

当行をご利用くださいました
ありがとうございました。

株式会社 沖縄海邦銀行
県庁内出張所



口座振替依頼書

心番 科目 口座番号

通 当 座

◆払戻請求書または小切手を出しませんので、上記口座から引落し振込資金へ充当してください。
◆当行が事前に振込処理する場合は発行所定の日に引落してください。

視察調査報告書

経費区分	調査研究			
年月日	令和3年11月10日~13日			
場所	東京 福島 宮城			
相手方	復興庁 東京電力関係者 女川町長 気仙沼役所復興関係者 松島観光防災関係者等			
目的	現地視察調査 意見交換等			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	別紙参照			
内容	別紙参照			
成果及び所見	別紙参照			
備考				

国会勉強会および被災地視察

調査研究費

期間：令和3年11月10日～13日（3泊4日）

出発 沖縄⇒東京 10:05発 12:25着（ANA994便）

宿泊先 10日：赤坂エクセルホテル東急（東京都千代田区永田町2-14-3 03-3580-2311）

戻り 仙台⇒沖縄 11:15発 14:35着（ANA1863便）

11日：三井ガーデンホテル仙台（宮城県仙台市青葉区本町2-4-6 022-214-1131）

12日：奥州秋保温泉 蘭亭（宮城県仙台市太白区秋保町湯元字木戸保7-1 022-397-1515）

日	時	旅程	概要	備考
11月10日(水)	9:30	那覇空港集合		
	10:05	ANA994便にて羽田へ		
	12:25	羽田空港着		
	～14:30	移動および食事		
	15:00～16:30	復興庁と意見交換	被災地の復興状況と復興の取組についてのレク	復興庁
	17:00	ホテル着		赤坂エクセルホテル東急
11月11日(木)	8:40	東京駅から新幹線にて福島県郡山へ		所要1時間20分
	10:00	郡山駅着、ハイヤーにて双葉町へ		所要1時間30分
	11:30	東京電力廃炉資料館集合	廃炉工程の概要説明と本人確認等	東京電力対応
	12:00	福島第一原子力発電所視察	福島第一原発内視察および各所の説明	東京電力対応
	15:30	東日本大震災・原子力災害伝承館視察	被災地域全体の除染状況等の概要説明等	施設対応
	16:45	双葉町出発		所要1時間30分
	18:15	郡山駅到着、新幹線にて仙台へ		所要45分
	19:00	仙台駅着		
	19:30	ホテル着		三井ガーデンホテル仙台
11月12日(金)	7:30	ホテル出発		所要1時間15分
	9:00	女川町役場着、復興状況および関連施設等視察	被災状況の説明ならびに復興状況の視察	女川町 須田町長対応
	10:30	女川町出発		所要1時間
	11:30	南三陸町震災復興記念公園	震災モニュメントの視察	
	12:00	南三陸町出発		所要30分
	12:30～13:30	気仙沼にて昼食		
	13:00	気仙沼市役所着、復興状況および関連施設視察	被災状況の説明ならびに復興状況の視察	気仙沼市議会対応
	14:00	気仙沼市出発		所要1時間半
	15:30	松島着、観光防災に係る施設整備状況の視察	被災状況の説明ならびに復興状況の視察	松島町観光協会対応
	17:00	松島発		所要50分
18:00	秋保温泉旅館組合着	被災およびコロナからの復興に関する意見交換	組合事務局長対応	
18:30	ホテル着			
11月13日(土)	9:00	ホテル出発、仙台空港へ		所要50分
	9:30	仙台駅着、東京組離団		
	10:00	仙台空港着		
	11:15	全日空1863便にて沖縄へ		
	14:35	沖縄着、解散		

2021年11月11日(木)

福島第一原子力発電所ご視察スケジュール Rev.0

【事前準備及び打ち合わせ】

時間	内容	場所	対応内容及び対応者
2021/11/10 15:00-16:00	会議室準備	協力企業棟 201会議室	
2021/11/11 09:00-10:00	対応者集合&打ち合せ	廃炉資料館 103会議室	

【当日のスケジュール】

時間	内容	場所	対応内容及び対応者
11:30-11:30 (0分)	廃炉資料館 到着	廃炉資料館正面玄関	
11:30-11:50 (20分)	○廃炉資料館案内(シアター上集合) ・本人確認証書のお預かり ※出発前お手洗いご案内	廃炉資料館	
11:50-12:10 (20分)	廃炉資料館 ~ 協力企業棟 [バス移動]	構外バス318	
12:10-12:50 (40分)	○ご挨拶/本人確認/概要説明/入構案内等ご説明	協力企業棟 201会議室	
12:50-13:10 (20分)	ご昼食(ご視察者さま手配のお弁当) ※出発前お手洗いご案内	協力企業棟 201会議室	
13:10-13:15 (5分)	協力企業棟会議室 ~ 入退域管理棟 [徒歩移動]		
13:15-13:25 (10分)	一時立入許可証の貸与 [徒歩移動含む]	入退域管理棟	
13:25-13:30 (5分)	個人線量計の貸与	入退域管理棟VIP室	
13:30-14:30 (60分)	福島第一原子力発電所 構内視察【降車あり】 ① 既設多核種除去設備(既設ALPS) ② 増設多核種除去設備(増設ALPS) ③ 1~4号機原子炉建屋外観俯瞰エリア【降車】 ④ 地下水バイパス設備 ⑤ サブドレン浄化設備 ⑥ 海側設備 ⑦ 6号機非常用ディーゼル発電機 ⑧ 雑固体廃棄物焼却設備 ⑨ 固体廃棄物貯蔵庫(第0棟) ⑩ 乾式キャスク仮保管設備 ⑪ 免震重要棟 ⑫ 高性能多核種除去設備(高性能ALPS) ⑬ ALPS処理水サンプル【降車】	構内バス401	
14:30-14:40 (10分)	身体スクリーニング/個人線量計の返却	入退域管理棟VIP室 (視察者ルート)	
14:40-14:45 (5分)	一時立入許可証の返却 [徒歩移動含む]	入退域管理棟	
14:45-14:50 (5分)	入退域管理棟 ~ 協力企業棟会議室 [徒歩移動]		
14:50-15:10 (20分)	質疑応答/アンケート ご掃着準備	協力企業棟 201会議室	
15:10-15:30 (20分)	協力企業棟 ~ 東日本大震災・原子力災害伝承館 [バス移動]	構外バス318	
15:30-15:30 (0分)	ご視察終了	東日本大震災・原子力災害伝承館	

今回の視察の目的は、10年前に沖縄自民党が被災地を訪れていることを受けて「震災から10年という節目に、以前訪れた東日本大震災被災地の現状を確認すると共に、被災地における地震・津波防災の変遷を知る」である。

特に今回は、前は入ることが出来なかった福島第一原発および周辺帰宅困難区域を訪れることが出来た。

まず復興庁にて全般のレクを受けた後に訪れた福島第一原発では、世界にも類を見ない大規模原子力災害の爪痕を目の当たりにし、また際限なく続く廃炉作業の説明を受け、あらためて未曾有の大災害であったことを原子力災害の恐ろしさと共に再認識することとなった。

続いて訪れた女川・気仙沼では、津波被災の経験を踏まえて防災の観点がはじめから導入された復興まちづくりの有様と再構築された防災政策などを視察した。

すべてが流されそのまま緩衝帯とされた旧集落、10m余も盛り土されて再開発された商業エリア、嵩上げされて防潮堤の役割を持たされた幹線道路、高台移転した市街等についてはそのまま真似できるものではないが、今後のまちづくりにおいては考慮すべきこ

とも多いと感じた。

また防災政策については、防災の第一義は「人命の安全確保」であるということ、防潮堤その他の防災インフラについても災害そのものを食い止めるのではなく被害の最小化を目的とすること等、被災地の防災政策に共通するコンセプトを目の当たりにすると、食料や日用品の備蓄などといった取り組みが目立つ沖縄の防災政策に幾許かの危機感を覚えた。

今後、質疑質問を通して議論していきたい。

現地の観光関連団体の方々と震災およびコロナからの観光復興についての意見交換も行ったが、特に印象に残ったのは秋保温泉旅館組合が掲げている「6時間の地域滞在を確保するための取組」であった。

当地は沖縄同様「宿泊日数を伸ばすこと」を最大の課題のひとつとしていたが、試行錯誤の末にたどり着いた「平均的なチェックアウトの時間から6時間地域に滞在させることが出来れば次回からの延泊が見込める」という当地の見識はそのまま沖縄にも当てはまるものであり、今後の観光政策提言に活かしていきたい。

沖縄・自民党派視察 各議員の成果及び所見 (東京・福島・仙台視察 令和3年11月10日～13日)

1	末松 文信	<p>11月10日(水) 復興庁の職員から東日本大震災および東京電力福島原発の被災状況と復興状況について事前説明を受けたことで、その概要を知る事ができた。</p> <p>11月11日(木) 福島県にて、東京電力福島原発の被災状況および廃炉に向けての進捗状況について、東京電力ホールディングス・廃炉推進カンパニーの担当者から説明を受けた。10年前の3月11日14時46分ごろ発生したマグニチュード9の大地震と30メートルを超える大津波により原子炉を冷却する二次電源が喪失した結果、水素爆発を起こし大量の放射線が放出飛散した。周辺住民への避難命令が発出され、炉心から10キロ、15キロそして20キロメートルと次々と避難区域が拡大し避難を余儀なくされた。10年が経過した今なお帰宅困難区域が広範囲に残されている。原子炉の水素爆発は、その後の調査から人災と位置づけられ、東京電力と日本政府は、世界中から技術を導入し莫大な資金を投入し廃炉作業に取り組んでいる。その廃炉作業も困難を極め30年40年経っても元に戻ることはないような途方もない作業と感じた。必要な社会資本とはいえ考えさせられることが多かった。また、廃炉作業に必要な冷却水に海水が使用されていると聞き、沖縄で問題になっている軽石の漂着により海水の汲み上げ等に影響しないか提議した。</p> <p>11月12日(金) 宮城県女川町にて、被災状況と復興経過の状況について、須田良明町長自ら説明をされ地震や津波により一瞬にして町が喪失し町民は仮設住宅や疎開先での生活を余儀なくされた。失われた街を再生し復興していくために町民が一丸となって取り組んだ。その際、新たな都市計画を策定するにあたり、子どもたちが将来誇れる町、行政主導ではなく「官民が一体となって、むしろ町民・民間主導のまちづくりを目指した。結果、以前よりもコミュニティーが形成され子どもたちが将来も誇れる明るく協働の街づくりに成功したと誇らされた。特に、素敵で印象に残ったのは、町のピスタライン(都市計画線)が正月に朝日がのぼるライン(線)と一致させている。一年はそこから始まるそうです。気仙沼市にて、唯一水産高校が残っていて、生徒を次々と避難させたあと先生方が屋上に避難し津波を目前にしながらも難を逃れたドラマに感動した。しかしながら、小高い広場を避難場所に指定した場所が津波に呑み込まれ多くの避難者が亡くなった悲惨な教訓も学んだ。特に、避難場所として指定を担当した方が説明しながら悔いておられる姿が思い起こされる。教訓に学び、今後の沖縄の災害対策に生かしていく</p>
2	石原 朝子	<p>東日本大震災の地震・津波地域については、少しずつ道路や街が整備をされてきている印象を受けた。しかしながら福島の原因に関しては、除染作業が進み、放射性物質が入っている袋が至るところに並べあり、住む人がいない閑散とした地域には異様な感じを受けた。国は、当面10年間、本格的な復興・再生に向けた取り組みを実施しているとのことであった。</p> <p>今回、地元の町長や市議員のお話を伺い、あらためて県議会、議員として非常時における役割とは何かを考えさせられた。議員は、災害情報を収集し、地元地域の被災支援は当然の活動ではあるが、議員個人々で働きかけると執行部の負担となる。個別の対応を一本化することにより、効率化と情報共有などにより迅速な支援が図られることになる。議会と執行部との連携、役割分担を明確にするためにも「非常時における議会の対応方針や行動マニュアル等」の整備について検討も必要だと考える。</p>
3	下地 康教	<p>復興庁による復興計画は、「地震・津波災害被災地」「原子力災害被災地」「教訓・記憶の後世への伝承」の3つに分けられている。</p> <p>震災から令和7年迄の15年間に約32.9兆円という莫大な予算の投入が計画されている。東京電力福島第一発電所の廃炉状況視察では、発電所に向かう途中に帰宅困難地域を通過した。未だに町に戻れない住民の無念さや胸がつかまる思いであった。</p> <p>原子炉建屋の廃炉現場を間近に見て愕然とした。廃炉に係る途方もない費用や時間、環境に対する多大な影響を考えると政治が決断しなければならぬ役割はとても大きいものだと感じた。気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館では、多くの人たちの日常と大切な命が奪われ悲しみに打ちひしがれたあの日、悲しみから立ち上がり復興する事で今日を向かえたが、決してあの日の時を忘れないという強いメッセージを感じた。災害から命を守り抜く努力と決意の大きさを痛感した視察だった。</p> <p>災害に想定外はない。県の防災計画や市町村の防災計画を常にフォローアップして行く必要性を実感した。今回の視察を今後の政策提案に生かして行きたい。</p>
4	仲村 家治	<p>今回の視察は、東日本大震災が発生して十年が経過した。未曾有の大震災を経験した現場の復興状況、教訓、課題を視察し、沖縄県の震災対策・復興策についての立案の参考にすることを目的に行いました。</p> <p>復興庁(東京)の全体説明を受け、福島第一原発、女川町、気仙沼、松島の沿岸部などの視察を行いました。福島第一原発での説明では、廃炉への気が速くなる時間と動力が費やされ、職員の気概を感じました。行政機関や政府の力量も必要ですがマンパワーの必要性を痛感しました。宮城県女川町の復興作業は行政と町民の協働のまちづくりの成功例だと感じました。海岸線の防潮堤や復興道路などのインフラ整備は進んでいるが、福島原発による汚染除去作業の長期化により、帰還できない住民の不安をどう解決すべきか、自問自答する時間でした。</p> <p>県庁所在地の那覇市には、那覇空港、那覇港と沖縄県の物流・経済を支えている主要施設が集中していることを考えると、大規模災害(津波・高潮)等の更なる対策と住民の避難対策強化、大災害時の行政機関の連携等を議会で問っていくとともに調査研究していきます。</p>
5	仲里 全孝	<p>今回の視察では、東日本大震災で被災した地域を訪問した。岩手県陸前高田市、宮城県石巻市では、高さのある土地へ住居を移転するなど、住まいの再建を進めていたり、交通、物流などのインフラ整備についても概ね完了しているとのこと。復旧に向けて着々と整備が進んでいるようだが、中核産業である水産工業などのハード事業や、ソフト面の事業に対しては、引き続き国の支援が必要な印象を受けた。</p> <p>また、福島第一原子力発電所においては、2041～2051年頃に廃炉の措置完了を目指しているとのこと。世界に例のない困難な作業を安全かつ着実に進めていけるよう、東京電力が日々向き合っていることを目の当たりにした。</p> <p>今回の視察をとおして、東日本大震災における災害被害およびこれに伴う原子力発電所の事故の影響の大きさには改めて衝撃を受けた。地域の復興がより進展すること、廃炉作業が一日でも早く完了されていくことを願いつつ、今回の視察での学びを、沖縄県の今後の防災対策に生かしていけたらと考えている。</p>
6	島尻 忠明	<p>東京で復興庁より東日本震災について説明を受けて福島、仙台に視察致しました。10年の歳月を迎えてなお復興は厳しい環境でした。津波対策として防潮堤、災害を風化させないように当時の建物保存するなど教訓として後世に伝えて行く大事さもお聴きました。更に公営住宅も整備しましたが10年の月日が経ちた今住民も戻れてないようでした。大好きな家族、友人との別れについて今だから話ができますと言うビデオを観て目頭が熱くなりました。この視察で学んだことをしっかりと受け止めて災害は忘れた時にくるとの言葉を胸に災害対策に活かしていきます</p>
7	新垣 淑豊	<p>11月10日より13日の日程にて復興庁でのレクチャー、福島第一原発、宮城県沿岸部などを視察。東日本大震災から10年が経ち、原発の廃炉含めどのように復興がなされているのか、防災体制の取り組みなどについて現地での確認と話を伺う。</p> <p>気仙沼の震災遺構では向洋高校旧校舎に於いての話から、想定では10メートルの津波に対して27メートルの津波が来た。600年に一度とはいえ、想定以上という可能性もありうるからこそ、2段階、3段階の避難を想定するなど、日常からの意識付けを行う必要があると感じる。中学校、高校では総合学習の時間を活用して防災意識を高めることが行われていたことから、生徒が亡くなるのがなかったと聞いた。一方でハザードマップで避難先とされている場所が津波被害にあったということもあり、実際に災害が起こり、その後のシミュレーションが正確になされること、情報の伝達を迅速に行うことで被害を抑えることに繋がると思われる。沖縄県としても防災危機管理センター(仮称 令和7年供給開始予定)において市町村との関係も含めどのような内容で危機管理を行うべきなのかしっかりと議論すべきである。</p> <p>また、福島第一原発の事故以降、電力供給のありかたについて、全国的に化石燃料に比重がかかっているが、特に我が沖縄県においても温暖化ガス対策など喫緊の課題の解消に向けて電力供給事業者とも早急に対策していかなければならないことも改めて考えさせられた。</p>
8	小渡良太郎	<p>私自身、東日本大震災被災地へは震災翌月後にボランティアとして行ったのを皮切りに市議時代の委員会視察、復興イベントへの参加、個人的な旅行を含めて14度目となるが、それでも福島第一原発構内に足を踏み入れるのははじめてでした。高い放射線量故に10年が経過してもそのままとなっている原子炉建屋周辺の瓦礫や水蒸気爆発で吹き飛んだが廃炉作業を優先するために放置された周辺の建物等、他の被災地ではとっくの昔に片付けられた津波災害の爪痕を目の当たりにすると、10年前に目にした被災地の様相が思い浮かび、「原子力災害からの復興はまだ道半ば」に感じました。また女川や気仙沼については、当時の様相と比べると津波被災からの復興および新たなまちづくりがかなり進んでいるとの印象を受けました。また少し当時のままの建物が残され(権利等の関係で瓦礫等の片付け後手付かずとなっている)のが散見され、10年という時間がもたらしたもの、10年という時間の経過でも完了しないことを通して、あらためて未曾有の大災害であったんだということを認識しました。防災の取組については、食料備蓄等が自立した沖縄の取組と「まずは人命の安全確保」して避難路の整備や訓練の実施等を優先する被災地の取組を比べると考えるところが多く、今後の提案に活かしていく所存です。「百聞は一見にしかず」のことわざ通り、東日本大震災被災地を見ることは地域防災を考える上で極めて重要だと思いますので、今後も多くの人に呼びかけながら被災地からの学びを継続させていきたいと思っております。</p>



WEB e2c7d9b600f09d02b2fc7b301de2ad1d
2022年01月25日 09:43

領収書
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : **下地康教様**
金額

THE SUM OF : **¥ 20,040 円**(税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1312424244649
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2021年12月22日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
SHIMOJI YASUNORI 様	2021年12月23日(木)	宮古	沖縄(那覇)	JTA564	離島割引(クラスJ)	¥10,020
	2021年12月28日(火)	沖縄(那覇)	宮古	JTA573	離島割引(クラスJ)	¥10,020

合計金額	¥20,040
------	---------



WEB fb8f975d2317b58e73ec02f5551d0d93
2022年01月24日 19:07

搭乗証明書
CERTIFICATE FOR BOARDING

1. お名前 NAME	SHIMOJI YASUNORI 様 SHIMOJI YASUNORI Mr./Ms.
2. 年月日 DATE	2021年12月28日 28DEC.2021
3. 便名 FLIGHT	JTA573便 JTA573
4. 区間 PORTION	沖縄(那覇)ー宮古 OKINAWA (NAHA) — MIYAKO

上記のとおり、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
This is to certify that above-mentioned passenger has boarded the Japan Airlines flight indicated above.

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.



WEB 15cb949c1da5427dd1be5fe5bcae264a
2022年01月24日 19:05

搭乗証明書
CERTIFICATE FOR BOARDING

1. お名前 NAME	SHIMOJI YASUNORI 様 SHIMOJI YASUNORI Mr./Ms.
2. 年月日 DATE	2021年12月23日 23DEC.2021
3. 便名 FLIGHT	JTA564便 JTA564
4. 区間 PORTION	宮古ー沖縄(那覇) MIYAKO — OKINAWA (NAHA)

上記のとおり、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
This is to certify that above-mentioned passenger has boarded the Japan Airlines flight indicated above.

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.

充当割合:政務活動のみ金額充当

調査研究費

12月26日 交通費(県議会→那覇空港)

モノレール利用した場合 @270×4=1,080

領 収 書

No.1129

日付 2021年12月26日

車番 000010 0000

基本運賃 ¥980円

合計 ¥980円

上記の様に領収致しました
毎度ご乗車有難うございます。
24時間無線配車を承ります。
下記までご連絡下さい。

日本交通株式会社

沖縄県那覇市宇栄原1-26-15

TEL 098-89-5125

TEL 098-857-2787

タクシー代 980円

充当割合:政務活動 のみ全額充当

調査研究費

先方への茶菓子【8個】 令和3年12月26日~28日

N2 007447

領 収 証

2021年12月26日

ちんすこう本舗
(有)新垣菓

沖縄自民党 様

担当者名

本 社

〒903-0826 沖縄県那覇市首里寒川町1-81-8
南城市玉城工場・事務所
〒901-0615 沖縄県南城市玉城字堀川698-1
TEL 098-948-3654 FAX 098-948-7834

品 名 ・ 規 格	数 量	単 価	金 額	摘 要
お菓子代として			7258	
		消費税		
		合 計	7258	

●上記のとおり領収いたしました。

観光交流政策課 南阿蘇政策企画課 益城町生涯学習課 企業立地課 総合事務所等

熊本視察 (7名)

- ① 仲 村 家 治 ② 仲 里 全 孝 ③ 島 尻 忠 明 ④ 下 地 康 教
- ⑤ 石 原 朝 子 ⑥ 新 垣 淑 豊 ⑦ 小 渡 良 太 郎

領 収 証

TZ No 012059

RECEIPT

2022年1月6日

沖縄自民党 様

領収金額		百	千			
	6	3	2	8	0	0

上記金額には消費税等が含まれています。

但し、航空券代金 クーポン券代金 団体旅行代金 申込金として

熊本ホテルパック、車両借上げ代

上記正に(現金・クレジットカード)で領収致しました。

発行店TEL 0988572222

発行店 07 営業本部

発行者



沖縄ツアーリスト 経理部 沖縄県那覇市松尾

2 (お客様用)

那覇⇄熊本(ホテルパック)7人分 車両借上げ代 632,800円

視察調査報告書

経費区分	調査研究			
年月日	令和3年12月26日～28日			
場所	熊本県			
相手方	熊本県観光交流政策課 南阿蘇政策企画課 益城町生涯学習課 熊本県企業立地課 熊本城総合事務所関係者等			
目的	現地視察調査 意見交換等			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	別紙参照			
内容	別紙参照			
成果及び所見	別紙参照			
備考				

熊本県視察

調査研究費

期間：令和3年12月26日～28日（2泊3日）

・往路 沖縄⇒福岡 15:25発 16:55着（ANA1868便） ・復路 熊本⇒沖縄 11:15発 12:55着（ANA1867便）

宿泊先：三井ガーデンホテル熊本（熊本市中央区紺屋今町1-20）

視察の目的

- ① 防災政策の更なる充実のため、熊本地震の被災地及び各地の復興に係る取組を学ぶ。
- ② 産業振興推進のため、熊本県の産業政策並びに企業誘致・創出・育成の取組を学ぶ。
- ③ 首里城復興に向けて、熊本城の復旧状況や復旧中における観光受け入れ態勢等を学ぶ

日	時	旅 程	
12月26日(日)	14:30	那覇空港集合	
	15:25	ANA1868便にて熊本空港へ	
	16:55	熊本空港着	所要45分
	18:00	ホテル着	

12月27日(月)	8:30	ホテル発、被災地視察へ	所要1時間20分
	10:00	震災遺構視察① 旧東海大学阿蘇キャンパス	熊本県観光交流政策課
	10:30	震災遺構視察② 旧阿蘇大橋崩落現場等	南阿蘇村政策企画課
	11:15	復興食堂にて昼食および被災者との交流	南阿蘇村政策企画課
	12:20	南阿蘇村出発、益城町へ	所要40分
	13:15	震災遺構視察③ 布田川断層帯（谷川地区）	益城町生涯学習課
	13:45	益城町出発、熊本県庁へ	所要30分
	14:30	熊本県の産業政策及び企業誘致の取組・施策レク	熊本県企業立地課
	15:30	熊本県庁出発	所要25分
	16:00	熊本城視察 復旧および復旧期間中の観光施策等	熊本市熊本城総合事務所
	17:00	熊本城出発、ホテルへ	所要10分
	17:10	ホテル着	
	12月28日(火)	9:00	ホテル出発、熊本空港へ
11:15		ANA1867便にて沖縄へ	
12:55		那覇空港着、解散	

全体の総括

今回の視察の目的は、まず東日本大震災とは異なる地震災害(大陸内プレート地震、沖縄でも起こりうると思われる種類)である熊本地震について、発災当時の状況や対応と復興の現況(復興と観光受け入れの両立のための施策を含む)に関する知見を得るため、もうひとつはコロナ禍の下でも揺るがないどころか更なる進展を見せる熊本県の産業政策を確認するため、の2点であった。地震については、いまだにくっきりと残る山肌の大規模崩落の跡やズレた断層を目の当たりにして自然の力の強大さと恐ろしさをあらためて実感すると共に、津波被害が主であった東北とは違った防災上の教訓を得ることができた。関連して熊本城の視察も行ったが、熊本城については完全復旧はあと20年程度の時間を要するということがあったが、「復旧の過程も含めて観光資源とする」という明確な意志の下で復旧作業の邪魔にならない観光動線の整備が為されており、沖縄においても首里城の復旧等に役立つ知見が得られた。産業政策については、産業振興に対する県担当部局の高い熱意と、政治が変わっても揺るがない長期的で一貫したビジョンに基づいた重層的な計画や部署を横断した施策展開を説明され、沖縄と比することすら出来ない大きな差を感じた。ただし同時に、熊本は阿蘇から流れ出る水資源や広大な熊本平野という優位性を持つものの、港湾や航空物流といったロジスティクス関係は沖縄の方がはるかに整っており、ふんだんに使用できる水資源を必要としない業種の立地も見られ、集積されたエリアの面積も十分許容可能だと考えられることから、戦後沖縄の積年の課題である「製造業の集積」実現は決して不可能なことではないという手応えを得ることができた。そもそも熊本県の産業政策の根幹にあったのは「じっくり腰を据えて取り組み、誘致前だけでなく立地後もずっと民間企業から信頼されるコミュニケーションを続ける」というものであり、決して特別な施策や優遇措置などではなかった。その姿勢が、世界最大の半導体製造企業の誘致へとつながるばかりか、このコロナ禍の下においてもまったく揺るがない雇用環境の形成に繋がっている。

沖縄が学ぶべきことは多い。

沖縄県民党会派視察 各議員の成果及び所見

1	石原 朝子	<p>熊本地震から5年が経ち、道路などインフラの整備は進んでいる状況である。復興に取り組みながら地震の記憶や教訓の伝承を目的とする震災遺構等の整備にも引き続き取り組んでいた。震災遺構等を通して、自然の驚異と今後の災害への備えが重要との認識につなげるとともに地域振興や観光振興につなげる取り組みなどは本県においても参考となるものと考え。今回、南阿蘇村復興食堂において被災者でもある地元自治会長の奥様から避難所での様子をお聴きすることができました。特に避難所生活では、食事はある程度我慢することができるもののトイレについては我慢ができない。そのためトイレの問題が深刻だったようです。高齢者においては、利用回数を減らそうと水分摂取量を控え、体調を崩してしまうこともあったようです。やはりあらためて「避難所運営マニュアル策定のための基本指針」をベースにしなが、女性の視点を取り入れた「女性の視点からの防災パンフレット」を作成に向け取り組まなければならない。本県においても災害対策決定の場や防災活動の場に女性が参加できる仕組みづくりについては、注視していかなければならない。熊本城の天守閣が耐震性を高めて5年の歳月を経て完全復旧した。今回は、常設展示や内装についても障がい者の方々に配慮された熊本城になっていた。首里城においても障がい者の方々に配慮された首里城となればと考える。今後とも防災に関する意思決定の場や避難所運営等、そして首里城の復旧についても女性をはじめとする多様性を取り入れるための県の取り組みを一般質問や委員会において質していきたい。</p>
2	下地 康教	<p>熊本地震の特徴は、最初に来た揺れが本震と思われた地震であったが、28時間後さらに大きな揺れが襲い被害を拡大させた震災でした。東日本大震災では、沖合を震源とした地震であったため津波によって未曾有の被害が発生しました。このようなことから、震源の場所や地震の規模によって被害の大きさや被害状況が変わってくる事が十分に予測されます。そこで、私たちの沖縄県では、過去の地震データをもとて起こり得る地震の特徴を予測し防災計画に反映させ、被害を最小限に抑える事が復興を早期に実現する近道であると実感した。また、被災地の人々から避難生活の苦勞や復興への取り組みを学ぶ事により、防災に対する考えを深める事ができた。今回の視察研修を今後の政策提案に活かしていきたい。</p>
3	仲村 家治	<p>今回は2016年熊本地震と熊本県の企業誘致の現状を視察してきました。前回は津波による災害でしたが、熊本地震は活断層(地表地震断層)により甚大な被害が発生した。今回の現地視察は、南阿蘇村の旧東海大学阿蘇校舎の震災遺構(地表地震断層)と同地区の震災伝承館に於ける状況説明と被災者の経験談と教訓を拝聴しました。東北視察でも感じたが、被災者の言葉は、沖縄県の教訓に生かし、県議会でも引き続き質問等を通して対策を構築していきます。熊本県の企業誘致は、大変参考になりました。県知事を先頭にトップセールスを行い、県東京事務所へ専属誘致部門の専属職員を配置し、地元の商工会議所等との密な意見交換会等を通して、県全体の企業活性化を目指すことで平成10年から令和3年12月現在で615件の誘致、雇用者を25,610名に成功しています。熊本県と沖縄県は立地や地理的に異なるが、参考にするところは多々あると感じました。議会等で提案していきます</p>
4	仲里 全孝	<p>今回の視察では熊本地震で大きな被害を受けた阿蘇地域を訪問し、「震災ミュージアム」として昨年に一般公開されている「旧東海大学阿蘇校舎1号館」を視察した。キャンパス内では、震災時に地表に表出した断層がわかる広場があるが、自然の中で時間とともに風化してしまわないように、土を固め、屋根を設けるなど保護されていた。また、視察した鉄筋コンクリート造の地上3階建の建物は、緩やかなカーブを描くような構造で耐震構造ではなかったようで、全ての階で床の損傷や柱の傾斜、建物自体の屈曲や沈下現象が起こったということだった。こういった形で、震災による被害、影響をそのまま残しておくことは、今後の防災対策の観点でも重要だと感じた。さらに、現場調査後には、地域の人々から、震災での体験について実際に話を聞いた。日々の生活における避難訓練の重要性、また、震災時の仮設トイレや、衣類提供の重要性、人と人との励まし合いの大切さを痛感したということだった。震災時にはすぐに駆け付けた自衛隊や沢山のボランティアのお陰で、ここまで復興を進めることができたということだった。今回の視察での学びを、沖縄県の今後の防災対策に生かしていけたらと考えている。</p>
5	島尻 忠明	<p>熊本県南阿蘇村の東海大学キャンパス跡と黒川地区の熊本地震震災ミュージアムで熊本地震について視察しました。震災前はこの地域は学生村と呼ばれて800人の東海大学生が生活して地元の皆さんとともに連帯してとても活気のある地域でありましたが震災により以前のような過疎化が進む村に戻ったとの事でしたとの説明を受けました。東海大学キャンパス跡地の現場視察では基準に基づく耐震補強をしていましたが地震による被害で傾いたり破損するなどして建物は使用出来なくなっていて後世に伝える為に保全されていました。周辺は橋梁が落ちたり学生寮は倒壊し生徒、地元の方も死者も出て自然の力をしみじみ感じました。自然災害についてはいろんな対策、訓練等行っていますがあらためて自然の脅威と対策の難しさが実感できました自然災害に対応するには事前の対策は勿論ですが現場視察して自分の目でしっかりと体験して対策を立てて災害を抑える事が大事だと思います。地域の皆さんは週に何回かキャンパス跡地の側で未だ山羊等が飼育されていてお世話に通う学生さん達にお弁当を提供したりして復興に向け共に進んでいます。素晴らしい絆に心が熱くなりました。災害は地域の形を変えるだけではなくそこに生活する人の人生も大きく変化するものがありますのでしっかりと取り組んで安心安全な街造りに活かしていきます</p>
6	新垣 淑豊	<p>2泊3日で熊本県の震災被災地を中心に視察へ行って参りました。南阿蘇村の東海大学跡地(右写真は校内の表面に現れた断層)や崩落した阿蘇大橋、廃校になった小学校で被災者からの話を伺ったりと先月の東北に引き続き防災という事について考えた視察でした。震災遺構ということで、東北の沿岸部などでも震災当時の建物が残っていましたが、建物をどの程度保存するのか、さらに年月が経つとその地で震災の事について伝承することのできる人材の確保がなかなか難しいことも共通の課題としてあげられています。左の写真はプロジェクションマッピングで地域の丘陵の状況を映し出したところ(左上)道路や揺れが大きかったところを映し出したり、道路網や住宅の状況(右上)揺れの状況を時間ごとに変化させて表示したところ(下段)でわかりやすく伝える道具として活用していましたので、この発想を活用し、沖縄県でも津波被害などをわかりやすく学校教育や地域活動の中で知らせるものになるのではないかと思います。熊本城では、見せる復興というものについて焼失した首里城の再建についても共通したところがあると思います。首里城は2026年に正殿が再建されますが、熊本城はこの先20年かかることもあり、仮設の通路(右上写真)がかなりしっかりと整備されており、そこから再建の進捗を目で見ることが出来ます。石垣の中などこの時期にしか見えない部分が目白押しと感じました。さらに、すでに修復されている天守閣でも城が過去に再建されたことも含めて展示がなされていたこともあり、この点はぜひ首里城でも行っていただきたいと提案します。今話題になっている半導体工場(TSMC/台湾企業)を含めた企業誘致についても熊本県の担当職員から説明いただきました。東京には通常の官庁対応の事務所だけではなく、企業誘致専門の事務所を設置しており重点ターゲットを設定した長期的かつ戦略的に取り組んでいると言うこともわかりました。ポトチップスの湖池屋さんか2021年7月に九州地域初の工場を設置したことも10年ほどかかって誘致をした旨の実例も伺いましたリーダーのビジョンというのが重要であると改めて認識しました。今回の視察研修を活かし県に提案してまいります。 ※参考:下段写真</p>
7	小波良 太郎	<p>目的は熊本地震被災地の状況と防災施策の現状について、被災した熊本城の復旧と観光受け入れの両立について、そして近年新型コロナ国産ワクチン開発や世界最大のファウンドリ誘致とビッグニュースに事欠かない熊本県の産業政策について、の3点。熊本地震は、海溝型のプレート間地震であった東日本大震災とは異なる断層ずれによるプレート内地震であり、沖縄で将来起こり得るとされる地震との類似性が指摘される地震である。どちらからかといえば津波被害が目立つ東北被災地では見られなかった断層直上の被害(建物や道路の断裂・橋梁等の崩落・地滑り等)を目の当たりにすると、「地震そのものも恐ろしい自然災害である」ということであらためて思い起こさせられた。熊本城については、石垣を含め地震で大被害を受けた後天守を復旧させたとのニュースが記憶に新しいが、城全体の復旧から見ると震災から5年でまだ20%に満たない程度であり、完全復旧にはあと20年余かかるという驚いた。そんな熊本城では、復旧作業のための動線をうまく回避する形で観光導線の仮設橋梁等が設けられる等、「復旧しながらの観光受け入れ」を強く意識した整備が進んでいた。これらの知見は是非首里城復興に役立てたい。そして産業政策について、「企業の誘致・育成・創出」を1960年代から県の主要政策のひとつに掲げ続けてきた熊本には、沖縄のそれとは比べものにならないほどの知識・経験・実績、そして何よりも企業と行政間の信頼関係が蓄積されていた。広大な沖積平野や豊富な地下水という優位性はあれど、港湾規模や海運の利便性などは沖縄が優れており、政策の方向性や政治のリーダーシップが異なればどうも結果が違うのかと熊本を羨ましく思えさせました。学ぶべきところ、真似してでも得べきところが数多くあった。今後質疑・質問を通して提言をしていきたいと思う。</p>



校内の表面に現れた断層



プロジェクションマッピング



仮設の通路



経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
	ホームページ委託料4月分~3月分 @40,000 × 12	480,000	全額	480,000
毎月払	ホームページ委託料(振込手数料) @330 × 12	3,960	全額	3,960
3/16	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月特別号)(仲村家治版)印刷代 83,500枚	597,025	全額	597,025
3/24	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(新垣淑豊版)郵送代(652枚別納)	51,699	全額	51,699
3/29	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(新垣淑豊版)印刷・振込手数料込み40,000枚	572,550	全額	572,550
4/1	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(新垣淑豊版)ポスティング39200枚 振込手数料込み	173,250	全額	173,250
3/25	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(石原朝子版)印刷代 28,000/折込代 26,755枚(3/22)	450,770	全額	450,770
3/25	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年特別号)(照屋守之版)印刷代 36,500枚	650,029	全額	650,029
3/31	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(照屋守之版)ポスティング 34,400枚	189,200	全額	189,200
3/30	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(西銘啓史郎版)印刷/ポスティング58,000枚 振込手数料込み	925,870	全額	925,870
3/31	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(仲里全孝版)印刷代(16,000枚)	519,200	全額	519,200
3/31	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(座波一版)印刷15,000枚/折込(13,040枚)(3/30)	728,816	全額	728,816
4/1	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(花城大輔版)印刷(50,000枚)/ポスティング 48,600枚 振込手数料込	707,916	89.1/100	630,753
	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(花城大輔版) 振込手数料込	550	89.1/100	490
4/4	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(眞屋宏版)印刷(30,000枚)/ポスティング 15,000枚 振込手数料込	1,053,250	全額	1,053,250
4/4	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(末松文信版)印刷(32,000枚)/折込3/22(12,555枚)ポスティング(17,800枚) 振込手数料込	651,500	全額	651,500
	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(末松文信版) 振込手数料込	770	全額	770
4/6	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(下地康教版)印刷(25,000枚)/振込手数料込	399,520	全額	399,520
	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(下地康教版)ポスティング(21,500枚) 振込手数料込	110,770	全額	110,770
4/6	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(又吉清義版)印刷(15,000枚)/ポスティング(15,000枚) 振込手数料込	891,770	全額	891,770
4/8	沖縄・自民党議会活動ニュース(令和4年3月号特別号)(島袋大版)印刷(33,000枚)/折込3/27(12,655枚)ポスティング(14,950枚)	964,393	全額	964,393
A. 小計				
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計				10,045,585

会派ホームページ

沖縄県議会会派 沖縄・自民党公式サイト

<https://kaiha-okinawajimintou.com/>


4月分

領収証 沖縄 自民党 様 No. _____

金額											
			7	4	0	0	0	0			

但し、令和3年4月分WEBサイト管理費更新代として
 令和3年 4月22日 上記正に領収いたしました

内訳	有限会社 内升商事
税抜金額	〒901-0101 沖縄県那覇市4-2-21
消費税額(%)	代表 菅良 氏



GR141B

おきんをご利用いただきありがとうございます。

おきん ファッションカードご利用明細

●お支払後の元帳残高頭部(「-」印字がある場合はご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。)

取引内容	取扱日	連続番号	取扱店番
お振込	030422	4168	012C
銀行番号	取引店番	口座番号	
万	五千	二千	千
4	0	0	0
500	100	50	10
0	0	0	0
センター取引時刻	取引金額		
09:30:58	¥40,000		
センターコード	お取引後残高		
備考(手数料)			
テスウリヨウ		¥330	
***** オツリ		¥0	

お振込先 沖縄銀行

お受取人 1) ナイカ イシヨウジ 様

ご依頼人 オキナワ シメントウ 様

電話番号 098-866-2754

振込日 03.04.22 NO.30005

◎ 沖縄銀行

(委託料+振込手数料) 40,330 円

会派ホームページ

充当割合:政務活動 のみ全額充当

広報広聴費

沖縄県議会会派 沖縄・自民党公式サイト

https://kaiha-okinawajimintou.com/

5月分

領収証 沖縄・自民党 様 No. _____

金額	40,000
----	--------

但し、令和3年5月分WEBサイト管理-更新代として
 令和3年5月21日上記正に領収いたしました

内訳
 税抜金額
 消費税額(%)

有限会社 内外商事
 那覇市千代町4-2-21
 代表 宮古 祐一

6A1418

おきん キャッシュカード
ご利用明細

いつもおきぎんをご利用いただき、ありがとうございます。

取引内容	取扱日	取扱店	機番	取引銀行番号	取引店番	口座番号
お振込	030521	0012	D 51			
連続番号	万円	千円	百円	十円	円	お取引金額
0811	4	0	0	3	0	¥40,000
備考(手数料)	センター取付時刻	お取引後残高				
テスクリョウ ¥330 オツリ ¥0	14:37:44	*****				

お振込先
沖縄銀行

ご依頼人 オキワ ジミントウ

様

電話番号 098-866-2754

振込日 03.05.21 NO.30086

お受取人 コナカ イシヨウシ

様

◎ 沖縄銀行

(委託料+振込手数料)

40,330 円

会派ホームページ

沖縄県議会会派 沖縄・自民党公式サイト

https://kaiha-okinawajimintou.com/

充当割合:政務活動のみ全額充当

事務費

6月分

領収証 沖縄・自民党 様 No. _____

金額

74,000.00

但し、令和3年6月分WEBサイト管理更新代として
令和3年6月22日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額(%)

有限会社 内升商事

那覇市みぎさ3542-2111

代表 宮島 祐二

GR1418

〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

おきん キャッシュカードご利用明細

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合は、
ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容 お振込	取扱日 030622	連続番号 5454	取扱店番 012A
銀行番号	取引店番	口座番号	
万	五千	二千	千
4	0	0	0
500	100	50	10
0	0	0	0
センター取引時刻 11:11:44	取引金額 ¥40,000		
センターコード	お取引後残高		
*****	備考(手数料)	¥330	
	アスウリヨウ	¥170	
	オツリ		

お振込先
沖縄銀行

お受取人 ヲ) ナイカ イシヨウジ 様

ご依頼人 オキナワ ジミントウ 様

098-866-2754

振込日 03.06.22 N030016

◎ 沖縄銀行

(委託料+振込手数料)

40,330 円

領収証

沖縄 自民党

様

No. _____

★ 140,000
但 令和3年7月分のLSP管理費 更新料 (2
食料) 年 7月 21日 上記正に領収いたしました
有限会社 内海商事
代表取締役 内海 隆二

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)	
	%	消費税額等

収入印紙

ロゴ目 ウケ-1097



〈おきん〉をご利用いただきありがとうございます。

おきん キャッシュカードご利用明細

●お支払後の元帳残高頭部に「E」印字がある場合は
ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容 お振込	取扱日 030721	連続番号 10277101E	取扱店番
銀行番号	取引店番	口座番号	
万	五千	二千	千
4	0	0	1
500	100	50	10
0	0	0	0
センター取引時刻 14:51:49	取引金額 ¥40,000		
センターコード	お取引後残高		
備考(手数料)			
*****		テスクリヨウ	¥330
*****		オツリ	¥670

お振込先 沖縄銀行

お受取人 1) ナイカ イシヨウシ

様

ご依頼人 オキナワ シ"ミントウ

様

電話番号 098-866-2754

振込日 03.07.21 NO.37041

◎ 沖縄銀行

(委託料+振込手数料)

40,330 円

領収証

沖縄銀行

様

No.

★

40,330

但し、令和3年度の経理・管理・実行費

令和3年8月20日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税込)
%	消費税額等
税率	金額(税込)
%	消費税額等

有価証券の取引
 沖縄銀行 40,330
 沖縄銀行 40,330

収入印紙

コクヨ:ウケ-1097

(おきん)をご利用いただきありがとうございます。

おきん キャッシュカードご利用明細

●お支払後の元帳残高頭部に「-」印字がある場合は、ご融資残高(総合口座、カードローン)を表わします。

取引内容	取扱日	連続番号	取扱店番
お振込	030820	0843132C	
銀行番号	取引店番	口座番号	
万	五千	二千	千
4	0	0	0
センター取引時刻		取引金額	
15:23:21		¥40,000	
センターコード	お取引後残高		
備考(手数料)			
*****		テスクリヨウ	¥330
*****		オツリ	¥0

お振込先 沖縄銀行

お受取人 1) ナイカ イシヨウシ

ご依頼人 オキナク シミントウ

電話番号 098-866-2754

振込日 03.08.20 NO.30505

◎沖縄銀行

(委託料+振込手数料)

40,330 円